

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成30年7月 6日(金)発行 第 14 号 発行責任者:高橋 弘悦

特設合唱部始動



いよいよ特設合唱部が本格始動しました。31名による活動となります。

本年度、新設校として開校した会津柳津学園中学校では、「一つになる」をスローガンに全校生で合唱に取り組んでいます。全員がパートに別れて練習を続け、現在ではそれぞれのパートが歌える段階にきています。

コンクールにも全員で参加できればいいのですがコンクールの参加人数は35名以内。今回活動をはじめた特設合唱部は、志願して「会津柳津学園中学校の代表として頑張る！」と志願してくれた生徒たちです。

これから、昼休みも夏休みも返上して、8月21日に迫ったコンクールに向けて歌声を磨いていきます。困難な道をあえて選択し、果敢に挑戦しようとする31名に大いに期待したいと思います。部長に角田颯哉くん、渡部美空さんが選ばれ、優秀賞、そして県大会出場をめざして頑張ります。応援よろしくお祈いします！



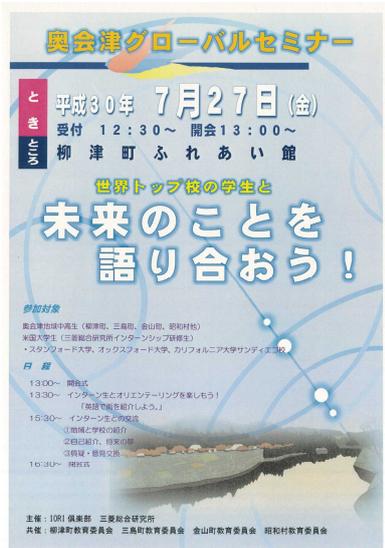
奥会津グローバルセミナー開催

参加についてご協力を

文書でもお知らせしたように、7月27日に、英国、米国の一流大学の学生が柳津に研修においでになります。これに伴い、標記セミナーが開催されます。

標記セミナーは、今年で3回目。昨年と一緒にカレー作りをして楽しみましたが、今年は、柳津町の名所を案内するオリエンテーリングを行います。外国人、しかも世界に名だたる大学の学生ということもあって、気後れするかと思いますが、気さくに、また日本語でも話してくれます。習った英語を道具として使ういい機会でもあります。片言の英語でも会話をしてみることは、今後の英語学習の意欲につながると思いますのでぜひ参加を検討してください。

なお、今年の大学生は、英国からオクスフォード大2名、米国からスタンフォード大2名、UCサンディエゴ校2名の6名です。



7月2日、社会を明るくする運動の一環で、校門前であいさつ運動をしていただきました。小学生、中学生とも大変さわやかなあいさつで、参加された方々も感動しておられました。



「将来は農業を仕事にしたい」と話す菊地さん

無農薬で本格栽培

会津柳津学園中2年 菊地 晃太郎さん (柳津町)

学校の菜園で、キュウリやナスなどさまざまな野菜を育てています。収穫した野菜は柳津町の西山温泉山村公園せいざん荘に提供され、利用する人たちに喜ばれています。

同町の西山中に通っていた1年生の時から近くの菜園で野菜を作っていました。学校統合により、今年から会津柳津学園中に通っていますが、野菜作りは場所を変えて続け

ています。「誰かに食べてもらうことがうれしい」と農業の魅力を語ります。

栽培は無農薬。竹の炭を使った防虫剤を利用するなど本格的です。畑の土を耕す作業や肥料作りも自分で行います。野菜はトマトやピーマンなど計14種類。これからは夏野菜のシーズンで、インゲンやナスなどの収穫が始まります。

収穫した野菜はせいざん荘に提供するほか、漬物にするなど自分で調理もします。「将来は農業を仕事にしたくて夢を膨らませています。」

6月30日付け民友新聞で、活動が紹介されました！